



奈良ゆかり探訪

第2回

～知ればその国の人に話したくなる～

奈良は東アジアから伝わった文化遺産にまつわるゆかりや、世界の国・地域との意外と知られていないゆかりがたくさんあります。普段見慣れた奈良の風景には、おどろくようなエピソードがいっぱい。

今月は、奈良とオーストラリアのゆかりを紹介します。

奈良×オーストラリア

初の姉妹都市は奈良県から!!

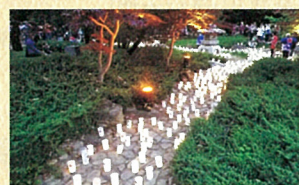


▲リズモー市の位置
(大和高田市役所HPより)

大和高田市とリズモー市

日豪姉妹都市第1号

大和高田市とリズモー市は1963年8月、日豪間で最初の姉妹都市となりました。リズモー市出身のパウロ・グリーン神父が1952年に高田カトリック教会に赴任し、幼稚園建設のために両国で募金活動に奔走されたことがきっかけです。毎年両市が派遣する交換学生はすでに300人を超えました。来年は姉妹都市締結50周年の記念の年を迎え、両市代表が顔を合わせ、お祝いをする計画が進められています。



▲キャンベラ奈良平和公園の
キャンドルフェスティバル

キャンベラ奈良平和公園

もうひとつの奈良公園

1993年に奈良市と姉妹都市となった首都キャンベラ市には、キャンベラ奈良平和公園(Canberra-Nara Peace Park)があります。姉妹都市提携を記念して1999年に建設され、奈良市民の寄付による春日灯籠・雪見灯籠・万葉歌碑が設置されています。美しい日本庭園と湖の景色を楽しむ市民の憩いの場として親しまれ、例年10月には両市の友好関係を記念して「キャンベラ・奈良キャンドルフェスティバル」が開催されています。

県国際観光課 ☎0742-27-8553 FAX 0742-23-0620

ならの生きものたち

第15回



奈良県では、最近、絶滅の危機にある生きものが増えてきているのよ。原因としては、開発や、里山の荒廃、外来の生きものの侵入などが考えられているわ。ここでは、奈良県でとくに注目されている生きものたちを紹介していくね。

Q & A

おしえてコマドリ先生!

Q:どんな植物なの?

A:日本固有の常緑針葉樹で、高さは約25m、幹の直径は約80cmになるわ。葉はクリスマスツリーに使うモミの木に似ているけど、樹皮はなめらかで灰白色なの。大峰山系の弥山・八経ヶ岳などの標高1700m以上に生えていて、一部は天然記念物にも指定されているのよ。

シラビソ(シラベ)

【種子植物マツ科】



シラビソ林の縞枯れ(弥山)

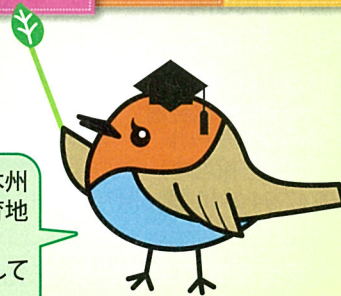
絶滅種

絶滅寸前種

絶滅危惧種

希少種

奈良県は本州南限の生育地なの。未来に残していきたいね。



コマドリ先生

Q:特徴は?

A:樹木としてはわりと寿命が短く、同一地域のシラビソが一斉に枯れては稚樹が一斉に生長するというサイクルを繰り返しているのよ。森が白い枯れ木と緑の樹木とで縞模様になるため、「縞枯れ」と呼ばれているわ。

Q:どうして減ってきているの?

A:樹皮や稚樹がニホンジカに食べられているのがおもな原因と言われているの。

Q:何か対策があるの?

A:ニホンジカよけの柵を設置することなどを考えているわ。

県自然環境課 ☎0742-27-8757 FAX 0742-22-7060

奈良の生きもの情報調査

検索